

様式第二号の十三 (第八条の十七の二関係)

(第1面)

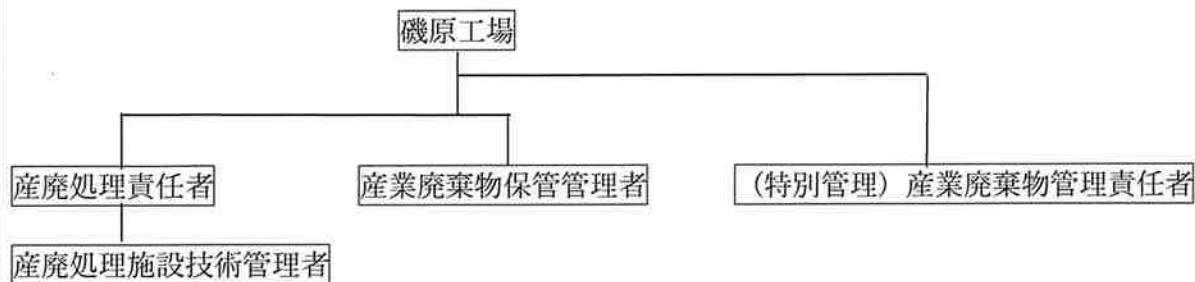
特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和 7年 5月 9日	
茨城県知事 殿	
提出者	
住 所 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号	
氏 名 株式会社 武蔵野化学研究所	
代表取締役社長 砂原三利	
電話番号 03-6810-0241	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 武蔵野化学研究所 磯原工場
事業場の所在地	茨城県北茨城市磯原町磯原1077-2
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	製造業 化学工業
②事業の規模	製造品出荷額 64億
③従業員数	97名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・製造工程 → 産業廃棄物 → 委託処理（中間処理） → 最終処分</li><li>・製造工程 → 産業廃棄物 → 自社焼却 → 特別管理産業廃棄物 → 委託処理（中間処理） → 最終処分</li></ul>

(日本工業規格 A/4番)

茨城県  
令和7.5.14  
県北県民センター  
受付

## 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】 別紙1の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 特別管理産業廃棄物を出発物質とした有価品の開発。		
②計画	【目標】 別紙1の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 特別管理産業廃棄物を出発物質とした有価品の開発、および販売の促進（継続）。		

## 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 種類：強酸、強アルカリ、煤塵 ・ 分別：専用タンクおよび保管場所を明確化しての管理。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 上述①現状を継続。

## (第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（      6年度）実績】      別紙2の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 特別管理産業廃棄物（強酸）を有価品としての用途開発（継続）。 ・ 処分場実地確認による適正処分の確認（継続）。		

②計画	【目標】 別紙2の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 特別管理産業廃棄物（強酸）を有価品としての用途開発（継続）。 ・ 特別管理産業廃棄物中間処理委託先の複数化による長期滞留化の防止（継続）。 ・ 処分場実地確認による適正処分の確認（継続）。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（ 6 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	5, 908. 78 t	
	(今後実施する予定の取組等) ・ 今後、新たに採用する処分業者、収集運搬業者についても 電子化対応可能な業者を選定する。		
※事務処理欄			

特別産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	前年度（令和6年度）実績			
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ（有害）	煤塵
	排出量	5,843.26	65.02	0.50
②計画	目標（令和7年度）			
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ（有害）	煤塵
	排出量	5,800.00	60.00	0.50

## 特別産業廃棄物の処理の委託に関する事項

(t)				
①現状	前年度（令和6年度）実績			
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ（有害）	煤塵
	全処理委託量	5, 843. 26	65. 02	0. 50
	優良認定処理業者への 処理委託量	—	65. 02	0. 50
	再生利用業者への 処理委託量	5, 843. 26	—	—
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	—	—
②計画	目標（令和7年度）			
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ（有害）	煤塵
	全処理委託量	5, 800. 00	60. 00	0. 50
	優良認定処理業者への 処理委託量	—	60. 00	0. 50
	再生利用業者への 処理委託量	5, 800. 00	—	—
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	—	—